

RESULTS JAPAN ANNUAL REPORT



02

February

令和2年度
事業報告書

2020 年 02 月 01 日

PMAC 本会議 2 日目

タイ・バンコクで開かれている UHC フォーラム(PMAC)は、本日が本会議の 2 日目です。

塩崎元厚生労働大臣と関係機関、省庁、学术界、企業の皆さん等と。

英国のキングスカレッジロンドンにご栄転された渋谷教授にもお会いできました。

JICA 戸田上級審議役と渋谷教授。GGG+フォーラムに欠かせない皆さんがタイに集結し、まるで GGG 同窓会です！

この日は塩崎元厚生労働大臣がメインスピーカーを務められるセッションからスタート。



塩崎元厚生労働大臣は日本銀行出身で、内閣官房長官、外務副大臣、大蔵政務次官を務められた経験を持ち、保健行政、外交、金融の3つの分野に非常に精通されている方です。また、国際母子栄養改善議員連盟の顧問でもあり、成長のための栄養(N4G)サミットの大応援団です。

塩崎先生からは「UHCに終わりはない。安定したヘルスケアイノベーションの財源を確保するためには、財務省が納得するエビデンスに基づく政策立案の提案が重要」というご自身の経験に基づいた力強い発言がありました。

この後も闊達な議論は続きます。

Assessing health interventions for a fair, efficient, and sustainable UHC というセッションです。

今度は渋谷教授が登壇。

ここでも栄養専門家たちが大活躍！UHCにおいて栄養介入が重要であることをフロアから訴えました。

栄養専門家と影武者どーら。

司会者の方からも持続可能なUHCを考える上で、栄養(food and nutrition)の重要性を忘れてはいけない！と、熱いお言葉をいただきました。渋谷教授もニッコリ！

PMAC アドボカシーもいよいよ大詰め。どのような成果が出るか楽しみです。



PMAC アドボカシー写真編

魔法使いどーらの UHC フォーラム(PMAC)アドボカシーも後半戦になりました。

写真でその様子を振り返ります。

日本の要人の皆さんからは「N4G サミットに向けて、UHC の中でも栄養は重要」という発言が相次いでいました。



仲良しの皆さんと再会し、嬉しそうなどーら。左から JICA 戸田上級審議役、味の素畝山様、どーら、塩崎恭久元厚生労働大臣、橋本岳厚生労働副大臣、WHO 山本尚子 ADG の豪華面々！



今回は We♡ではなく、黄色い T シャツがアイコンです。外国の要人の皆様に UHC 達成のために栄養改善がいかに重要かアドボカシーをしています。味の素ファンデーションの栗脇様は T シャツ青年として話題になったようです。



国立国際医療研究センターの井上肇先生とツーショット。

歌うグローバルファンドの國井先生。

遂には踊りだす國井先生。

負けじと歌う JICA 戸田上級審議役。



セッションで対抗する戸田上級審議役。

リーゼントの歌手の方との、勝敗の行方は如何に！？今回の紅一点。あちこちでひっぱりだこの WHO・ADG の山本尚子先生。



毎日精力的に動いて、さぞかしお疲れではないですか？どーらさん。



え！？バリバリ元気よ！

ということで、明日もバリバリ活動をする予定です。

2020 年 02 月 02 日

国際開発ジャーナル 2 月号に寄稿が掲載

国際開発ジャーナル 2 月号にスタッフ長坂の寄稿が掲載されました。アフリカ健康構想に関して、ケニアの現場での取り組みと課題について論じています。



補正予算成立

1月30日参議院予算委員会で2019年度の補正予算が可決しました。

日本リザルツが関係する国際保健の分野については、外務省のHPに詳しい情報が載っています。

中身を見ますと、グローバルファンドには444億円の拠出がされています。つまり、6次増資会合の際に日本がプレッジした8.4億ドルのうち半分を今回の補正予算で支払う計算となります。

Gavi アライアンスには20.6億円が拠出されています。コンゴ(民)で拡大しているエボラ出血熱、および周辺諸国の予防接種支援と、日本企業とGaviが連携してワクチン接種におけるイノベーションを推進することに使われる予定です。

またUNDPとGHITファンドにも4億円が拠出されています。これは三大感染症や顧みられない熱帯病(NTDs)抑止のために、日本の学術界、企業の研究開発を促進するために利用されるそうです。

2020年02月03日

池田大作 SGI 会長、「教育のための国際連帯税」創設を提唱

いつも国際連帯税を支援してくださっている池田大作 SGI 会長が、このたび「教育のための国際連帯税」創設を提唱しましたので、ご紹介します。

第45回 SGI 提言⑧ 「教育のための国際連帯税」を創設

「教育のための国際連帯税」を創設し、人道危機下の子どもたちを支援
(前略)

国連のSDGsで“すべての子どもたちに質の高い教育を”との目標が掲げられる中、紛争や災害の影響を受けた国で暮らす子どもたちが、「失われた世代」として置き去りになるようなことは、決してあってはならない。

(ユニセフ主導の)ECW(教育を後回しにはできない)基金が設立された2016年の時点での推計では、人道危機に見舞われた7,500万人の子どもたちに基礎教育を提供するには毎年85億ドル、1人あたりで年間113ドルが必要になると見込まれていました。

現在、その対象人数は1億400万人に及び、必要額も増えているものの、世界全体の1年間の軍事費である1兆8,220億ドルのほんの一部に相当する資金を国際的な支援などで確保できれば、厳しい状況にある多くの子どもたちが、希望の人生を歩み出すきっかけを得られるのです。

その意味で私は、誰もが尊厳をもって安心して生きられる持続可能な地球社会を築くための挑戦の一環として、ECW基金の資金基盤の強化を図り、緊急時の教育支援を力強く進めていくことを呼び掛けたい。

かつて私は2009年の提言で、国連が当時進めていた「ミレニアム開発目標」の達成を後押しするために、国際連帯税等の革新的資金調達メカニズムの導入を促進することを提唱したことがあります。

SDGsの推進において、その必要性は更に増しており、「教育のための国際連帯税」の創設をはじめ、資金基盤を強化するための方策を検討すべきではないでしょうか。

(中略)

私は、教育分野の支援において豊かな実績を持つ日本が、「教育のための国際連帯税」をはじめ、さまざまなプランを検討する議論をリードしながら、ECW基金の資金基盤を強化するための枠組みづくりで積極的な役割を担うことを強く呼び掛けたいのです。…以下、省略。

2020年02月05日

クラウドファンディング成立！

スナノミ症で苦しむケニアの人々に靴を送るための送料を募るクラウドファンディングを昨年の12月から行ってきましたが、昨日2月4日（火）の午後11時を以て募集期間が終了しました。皆様からご協力をいただき、支援総額は目標額の122%にあたる183万4,000円となりました。本当にたくさんの方からご支



援をいただき、ここまで来ることができたと深く感謝申し上げます。

引き続き、送料のご寄付は金融機関口座へのお振込みという形で募集しておりますので、ご支援をいただけますと幸いです。

靴の整理も少しずつ進み、以前は全国から送られてきた大小様々な箱で埋まっていた机もきれいになりました。



まだ多くの段ボール箱は、ただ靴を移し替えたただけなので、ケニアまでの輸送に耐えるようきちんと梱包する必要があります。
早く靴を届けられるように頑張ります。

2020年02月06日

スナノミ症の記事が公明新聞に掲載！

2月4日付の公明新聞にスナノミ症抑止に向けた最新の取り組みに関するインタビュー記事が掲載されました。

公明党の参議院議員秋野公造先生もツイッターで紹介してくださっていました。

尚、スナノミ症で苦しむケニアの人々に靴を送るための送料を募るクラウドファンディングを今年の12月から行ってきましたが、昨日2月4日(火)の午後11時を以て募集期間が終了しました。皆様からご協力をいただき、支援総額は目標額の122%にあたる183万4,000円となりました。

本当にたくさんの方からご支援をいただき、ここまで来ることができたと深く感謝申し上げます。



アフリカでバッタが大量発生

昨日の日経新聞に「アフリカでバッタが大量発生」との記事がありました。

記事の大意は、

アフリカ東部で大量のバッタが発生し、被害が深刻になっていて、ケニアでは過去 70 年で最悪の被害となった。エチオピアやソマリアで 1 月以降、サバクトビバッタが大量発生し、両国に隣接するケニアにも広がった。

国連食糧農業機関(FAO)は、エチオピア、ケニア、ソマリアでは 1,200 万人ほどが食料危機の状態にあると指摘した。



今年は日本政府が 12 月に「成長のための栄養(N4G)」サミットを開催しますが、栄養の前に食料確保が急務となってしまっは大変です。

2020 年 02 月 10 日

新型ウイルス、医療体制の脆弱国家、国際連帯

新型コロナウイルス肺炎の感染がたいへん懸念されますが、幸い毒性が低いので栄養と睡眠を十分取りウイルスに負けないようにしましょう。

ところで、新型ウイルス感染地図を見ると、驚くことにアジアの一部や中東(除くアラブ首長国連邦)、アフリカ、南米には 1 人も感染者がいません。いないのではなく医療体制が脆弱なため見つけることができないのだと思います。



【日経新聞】 コロナウイルス感染マップ

世界保健機関(WHO)は 1 月 31 日「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」を宣言し、とくに「我々はウイルスが医療態勢の脆弱な国に広がることを最も懸念している」と言明。

また、昨夜の NHK スペシャルでも、押谷・東北大学教授は日本国内での対策強化と共に「今後、アジアやアフリカの医療体制の脆弱な国々にこのウイルスが広がっていくとより大きな被害が起こる可能性もある。これらの国々をどう支援するのかという視点も必要だ」と述べました。

【NHK】感染はどこまで拡(ひろ)がるのか～緊急報告 新型ウイルス肺炎～

では、脆弱な国々への支援のための財源をどうするのか。このことにつき、昨日朝の TBS の『サンデーモーニング』で、寺島実郎氏は、今こそ短期的な対策だけではなく中長期的視点に立ち、日本が中国、韓国に呼びかけ感染症に対する共同研究体制を作れと提言し、そのための財源として国際連帯税を挙げていました。「今や 5,000 万人も日本を出入りしている。これらの人にひとり 1,000 円ほど払ってもらい財源とする」と。航空券や乗船券への課税ですね。

さらに番組の後半で欧州 10 か国での金融取引税の動向も紹介し、「グローバリゼーションで恩恵を被っているものが(グローバルなリスクに対する)コストを負担すべきで、これが現代の政策科学ではないか」と述べました。

今度はザンビア珍道中 1

霞が関の魔法使いどーらこと代表の白須は 2 月も大忙し！2 月 8 日に東京を発ち、今度はなんとザンビアを訪問中です。ANA ホールディングスなどがドローンを使って血液検体等を運ぶプロジェクトに専門家として帯同するためです。

こちらのプロジェクトは、地上交通が未発達な地域の病院とヘルスセンター間などで実施され、HIV/AIDS の診断や治療に必要な検査用血液検体、結核検査用の喀痰（かくたん）、消耗品や試薬などの医療関連物資をドローンで運ぶ実証実験を行います。検体回収から診断や治療など、医療サービス全体の時間短縮や輸送品質を高めることで、検査の質の向上を図ることが目的です。尚、こちらは、どーらが関係各所に掛け合い、2017 年の UHC フォーラムの首相スピーチにドローンを入れ込んだことに端を発するものとなっております。どーらにとってもザンビアは思い入れのある国。ストップ結核パートナーシップの代表理事であるどーらは、2007 年に安倍首相を表敬し、グローバルファンドの継続的な巨額の拠出につなげた結核・エイズ活動家の故ウィンストン・ズルさんの故郷でもあります。



2020年02月11日

どーらのザンビア珍道中2（夕食会）

霞が関の魔法使いどーらこと代表の白須は現在ザンビアを訪問中です。昨日は、現地に駐在する日本のNGOやアカデミア、そしてJICAなどの皆さんと意見交換を兼ねた夕食会を行いました。



撮影：どーら（例のガラケーで撮っています）。

盛り上がってそうですね！

また、昔、ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟の事務局長である浜田昌良参議院議員とザンビアを訪問した際には、カウンダ元大統領にもお会いしました。



今回はザンビア保健省や大使館、JICA、現地NGOを訪問し、意見交換を行います。

早速、活動の様子の写真が届きました。保健省の皆様と。写真は随時更新しますので、皆さん楽しみにしてくださいね。



2020 年 02 月 12 日

釜石市の凧揚げ

釜石市で今月 15 日に開催される凧揚げについて報道がなされています。

MSN ニュース：「つながっているよ」たこ揚げで苦境のガザにメッセージ 岩手・釜石で交流会開催へ

毎日新聞：希望のたこ揚げ、今年も 苦境のガザ、励ましたい 15 日、参加呼び掛け 釜石／岩手

パレスチナ自治区ガザの子どもたちと釜石市の子どもたちを繋ぐこの凧揚げですが、その報道の中で凧揚げの契機として、以前日本リザルツに勤め、その後 UNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)へ行かれた吉田美紀さんについて触れられています。

天気に恵まれ、想いが届く凧揚げとなることを祈っています。

2020 年 02 月 13 日

両国高校ご一行来訪

本日、日本リザルツで行っているスナノミ症対策プロジェクトについて話を聞きたいとのことで、両国高校から 5 名の学生さんがいらっしゃいました。皆さん熱心にメモを取りながら聞いてくださり、また質問もたくさんしてくださいました。なんでも、スナノミ症について動画や SNS 等、高校生ならではの感性と手法で多くの方に知っていただく取り組みをしたいとのことで、素晴らしいと思うと同時に、自分は高校 1 年生の時何をしていたのか…などと考えてしまいました。引き続き、連絡を取り合って、どのように協力できそうか検討していきます。



毎日新聞 オピニオン欄 掲載

本日の毎日新聞 オピニオン欄に日本リザルツ職員の長坂の投稿が掲載されましたので紹介いたします。ナイロビのごみ問題について、現地のニーズに沿った対策に日本のごみ処理に関する技術とノウハウを活かして欲しいとの内容です。



どーらのザンビア珍道中3 (事務次官にご対面編)

霞が関の魔法使いどーらこと代表の白須は現在ザンビアを訪問中です。12日の夕方には、

ザンビア保健省の事務次官(Technical Service 担当)のもとを訪問し、プロジェクトについてお打ち合わせをしてきました。

早速、写真が届きましたので、紹介させていただきます。
最大のミッションが上手くいったようで、皆さん笑顔です。
よかったですね！
どーらのザンビアミッションはまだまだ続きます。



2020 年 02 月 14 日

はじめまして

はじめまして！今週から日本リザルツで働き始めました村井です。4月からケニアに駐在予定です。今まで、ウガンダ、ペルー、タンザニア、マラウイといった国々で働いていました。

どーらのザンビア珍道中 4

霞が関の魔法使いどーらこと代表の白須はザンビアを訪問中です。

12日はザンビア南部のチョマを訪問し、実際にドローン実証実験を行う場所等を確認しました。

13日は在ザンビア日本国大使館の水内龍太大使を訪問し、今回の滞在の成果をご報告させていただきました。

また、日本リザルツのパートナーである CITAM+も訪問し、ドローンプロジェクトの説明をさせていただきました。



皆さん、ドローンに興味津々です！（撮影：どーら by 例のガラケー）

明日はザンビア滞在の最終日。
身体に気を付けて頑張ってく



ださいね、どーらさん！

2020年02月16日

もうすぐ春ですね

日本に帰国した白須から、梅の花の写真をいただきました。

日本リザルツの岐阜支部の高木様という方からいただいたお写真ということです。骨髓バンクのボランティアもされている方です。

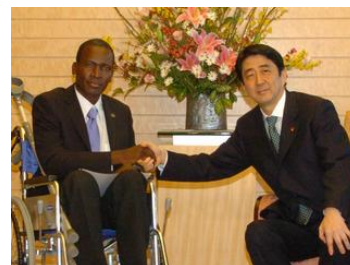
ケニアには日本のような四季がないので、なんだか懐かしい気持ちになりました。



2020年02月17日

どーらのザンビア珍道中5

霞が関の魔法使いどーらこと白須は2月8日に日本を出国し、ザンビアを訪問。15日の夜に帰国しました。ザンビアは白須が感染症抑止のアドボカシーを始めた原点でもあります。ストップ結核パートナーシップの代表理事であるどーらは、結核・エイズ活動家の故ウィンストン・ズルさんとともに、2007年に安倍首相を表敬。これが、グローバルファンドの継続的な巨額の拠出につながりました。ザンビアはズルさんの故郷でもあります。



ザンビアでの訪問は、JICA、在ザンビア大使館、外務省の皆様のお陰もあり、非常に実りのある滞在となった模様です。無事に保健省とも覚書をかわし、ドローンミッションがいよいよ本格的に始まりました。

どーらもズルさんの故郷で新たなプロジェクトが始まることにワクワクしているようです。全ての交渉がスムーズにいったのは天国のズルさんのお陰かもしれませんね。

71 歳になっても世界各地で奮闘するどーらさん。ズルさん、天国から引き続きどーらさんを見守っててくださいね！

2020 年 02 月 18 日

ケニアの仲間たち

皆様、こんにちは。今日はケニアで今後一緒に事業を行っていく仲間たちをご紹介します。

まずは栄養士のペリスさん。現在、大学院で栄養学を学んでいます。修士論文を書いている忙しい中にも関わらず、ケニアでの栄養プロジェクトについて、適切なアドバイスをしてくださいます。



次に建築家のシェムさん。いつも時間通りにきちんと仕事をしてくださいます。シェムさんのアイデアで、今後、様々な施設のバリアフリー化が進む予定です。



そして、ウエストランズ保健省のアズマさん。アズマさんのご理解のもと、日本リザルツケニア事務所の事業は進んでいます。2018 年の GGG+フォーラムにはゲストスピーカーとしてお越しくださいました。

全ての人が適切に栄養を摂り、健康な生活を送るためには、尊厳のある生活ができることが必須です。つまり、UHC 実現のためには SDGs を達成する必要があります。



はじめて会った結核患者さんのアンジェリーナ。家が貧しく、十分な栄養を摂れず、亡くなりました。全ての人が健康に暮らす世の中を目指すためには、貧困、公衆衛生の改善など様々な問題が絡み合っています。ただ病気を予防・治すのではなく、どのように UHC の実現に向けて包括的に対策を進めていけばよいのか。いつも、アンジェリーナが天国から私たちに問いかけてくれている気がします。



姫井由美子を囲む会 2020 に出席

2月14日(金)に、日本リザルツの理事である姫井由美子さんのお誕生会が憲政記念館で開催され、リザルツからは2名参加いたしました。

お誕生会の前にプレミアムトーク「幸せに生きる権利～児童虐待から考える～」が開催され、様々な分野の方々からのご発言があり、大変興味深い時間でした。俳優の武蔵拳氏から動物愛護のお話があり、強面の容姿とのギャップが感じられ、ちょっと微笑ましく思いました。



ファシリテーターの細木喜弘氏と姫井理事、登壇者の方々-1、登壇者の方々-2

お誕生会は物部彩花さんの国歌独唱で始まり、来賓の方々のご挨拶が続き、その間美味しいbuffet料理をいただきました。今年はバースデーケーキの代わりに果物をふんだんに使用したバースデーフルーツが登場し、趣向にビックリしました。姫井理事の交友関係の広さから、様々な分野の方が出席されていて、楽しいパーティでした。

国歌を独唱する物部彩花さん

姫井理事からご挨拶



パーティ会場の様子

華やかなバースデーケーキならぬバースデーフルーツ
最後にみなで”エイエイオー”



クルーズ船にオーラルピース配布

2016年の熊本地震の支援活動を契機として日本リザルツが応援させていただいている株式会社トライフの手島社長から、横浜港に停泊中の「ダイヤモンド・プリンセス」の乗客3,600人に同社の「オーラルピース」を無償提供したという日経新聞の記事についてお知らせいただきました。船上で不安な日々を過ごす人々や、心配をしている人々に元気を与えてくれる、素敵なニュースだと思いました。

オーラルピースは植物由来の歯磨きジェルで、水がなくても歯磨きができ、飲み込んでしまっても安全という製品で、新生児から高齢者まで誰でも使えて、感染症対策や災害復興といった場面でも活躍してくれる製品です。



併せて、テレビで報じられた動画等のリンクも送っていただきました。

WBS カイシャの鑑「共感ビジネスで人を呼ぶ」

日経チャンネル夢織人「オーラルピース～弱者を病気から守る！歯磨きジェル 救うのは障がい者！？～」

NHK 総合サキどり「高齢化時代の救世主 飲み込める歯磨き粉」

MXTV ニュース特集「JVA 最高賞受賞 高齢者にやさしいオーラルピース」

WBS トレたま「飲める！？歯磨き粉」

2020 年 02 月 21 日

北海道岩内町へ

日本リザルツ代表の白須は、来週の火曜日 25 日に、顧みられない熱帯病(NTDs)の根絶を目指す議員連盟事務局長の秋野公造参議院議員と共に北海道の岩内町を訪問します。目的は、スナノミ症対策推進のために「雅子プロジェクト」を立ち上げることです。

プロジェクトの「雅子」様とは、今年の 11 月 11 日に日本リザルツへお越しいただいた岩内町の元町会議員、齊藤雅子様のことです。リザルツのスナノミ症対策に関する新聞記事の切抜きを沢山お持ちになり、日本リザルツの活動に前からご関心があったとおっしゃってくださいました。在職中は忙しかったけれど、引退されてお時間を取れるようになったので、力になりたいと熱心にお話ししてくださいました。

北海道にも応援をしてくださる方がいらっしゃると心強く感じていたところ、雅子様が今年の 1 月 3 日に交通事故に遭われ、亡くなったということを聞き、大きなショックを受けました。その思いを継ぎ、スナノミ症根絶へ向けた活動を一層推進するため、プロジェクトを立ち上げようということになりました。

このプロジェクトでは、ケニアがスナノミデーと定めている 3 月 3 日を「世界スナノミの日」と制定するよう国連に働きかけるなど、世界がスナノミ症に目を向け、対策を強化するよう活動を行います。

2020年02月22日

ポリオアドボカシー会合に参加してきました (於：UNICEF 東京事務所)

先週、2月10日のことですが、UNICEF 東京事務所で開催されたポリオアドボカシー会合に参加してきました。ユニセフの他には NGO(非政府組織)が参加しました。

ポリオ(急性灰白髄炎)は、発生する場合は乳幼児に多く、手や足に麻痺を残すことがある病気です。麻痺や麻痺部分の変形は、その後の生活に大きな影響を及ぼしてしまいます。ポリオウイルスによる感染症であり、便を介して他人にも感染します。

残念ながらポリオには確立された治療法がありませんが、一方で、予防接種の実施によりポリオを防ぐことができます。日本でも、戦後、ワクチン接種(国内でのワクチン開発を含む)によりポリオ感染を抑えることに成功しており、1980 年を最後にポリオ野生株による感染は報告されていません。その後、2012 年にはワクチン由来の感染を完全になくすために、従来の経口生ワクチンを廃しています。

予防接種といえば、今年は6月に Gavi アライアンスの増資会合がロンドンで開催されます。昨年9月には国連 UHC ハイレベル会合において安倍首相が Gavi への拠出に関して言及しています。Gavi の増資会合のような、予防接種の機運が高まるときに何か発信できればという意見が、2月10日のポリオアドボカシー会合でも出されました。

2020年02月23日

栄研化学のケニア訪問

21日(金)、栄研化学の皆さんがアフリカ出張の帰りにケニアにお立ち寄りくださいました。

TB-LAMP が設置されているウエストランズヘルスセンターを訪問し、技師や医師の方から機器を使用した感想等や課題を聞き取りされていました。

ケニアの国家結核戦略によると、第一の診断機器は GeneXpert と定められているのですが、ケニア全土にまだ 189 台しかなく、全ての喀痰を検査することができていません。一方、古くからある顕微鏡診断(喀痰を着色し、顕微鏡で菌の有無を調べるもの)は 2,600 施設に設置されていますが、技師の目で確認するため精度が半分程度であることが課題です。



技師の皆さんからは「LAMP は診断方法も簡単で、機械も頑丈なので、是非、ケニア全土に広まってほしい」という力強いお言葉をいただきました。

TB-LAMP が、ケニアの結核根絶のために双方を補完する役割として全土に普及するといいですね。



2020 年 02 月 25 日

北海道岩内町訪問

北海道を訪問中の白須から写真が届きました。

無事岩内町の齊藤様にお会いでき、「雅子プロジェクト」の立上げを宣言したようです。

これから、顧みられない熱帯病(NTDs)の根絶を目指す議員連盟の秋野事務局長とも連携し、3月3日を国連世界スナノミの日に制定するよう求める等、活動を強めてまいります。

皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



2020 年 02 月 27 日

栄養サミットに向けた日本政府の資金拠出について外務大臣が言及

2020 年 2 月 25 日(火)に、衆議院予算委員会第三分科会が開催され、牧島かれん衆議院議員が質問に立たれました。

牧島議員は、日本の栄養分野に対する拠出額が「主要 7 カ国の中で最下位ということが数字で示されてしまっています」と指摘されました。その上で、今年 12 月に開催される成長のための栄養(N4G)サミットについて、日本は主催国として「10 億ドル、1,000 億円といった野心的なプレッジを期待できれば」と要望された上で、「世界に向けて日本のリーダーシップを示していただければ」と訴えられました。

こちらに、茂木敏充外務大臣が答弁されました。

ここでは、栄養サミット的主催国として「資金的なコミットメントを他国に呼びかけていくからには、主催国がそれなりのことをしないとイケません。額について今は申し上げられませんが、できる限りのことをしたいと思います」という力強いお言葉をいただきました。

2020 年 02 月 28 日

初めての単独栄養アドボカシー

今日は、初めて一人で議員会館を訪れました。塩崎恭久議員と鈴木馨祐議員の事務所を訪問し、政策提言の資料を手渡しました。先週、ロンドン大学の渋谷先生たちと省庁を回った際に使ったものです。話を聞いてくださった秘書さん、ありがとうございました！